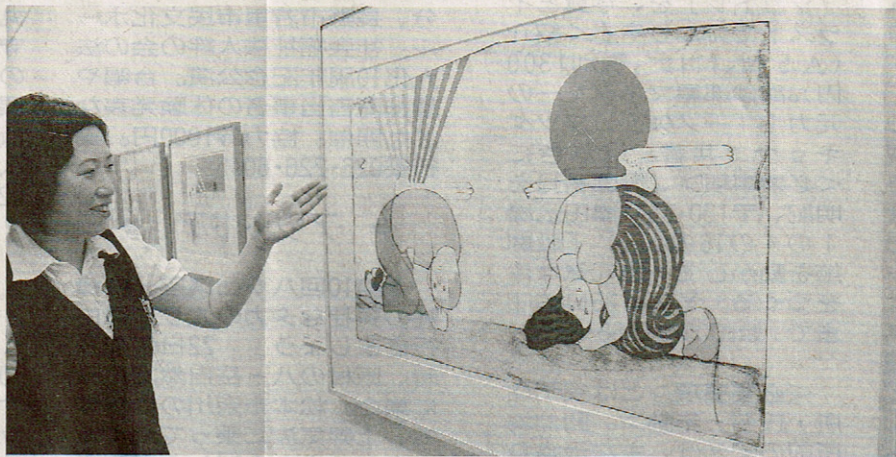


# 版画で伝えるロマンス

須坂 恋愛・友情テーマに作品展

版画家・田嶋健の作品を説  
明する学芸員の杉本さん



須坂版画美術館（須坂市野辺）で展覧会「版画にこめたメッセージ 片思い、妄想、失恋、プロロマンス！」が開かれている。須坂アートパーク内にあるモニユメント「恋人の聖地」の2周年を記念し、企画された。失恋や片思いなど恋の切ない気持ちや、男性同士の強い友情を意味する「プロ

ロマンス」がテーマ。長野県在住の版画家・田嶋健のユ一モアあふれる作品や、大正時代に共同で版画集「公刊『月映』」を刊行した版画家・恩地孝四郎、田中恭吉、藤森静雄3人の友情や親友との死別をテーマにした57点の作品が展示されている。

主任学芸員杉本あゆ子さ

ん(43)は「いつの時代でも、愛や友情は変わらない気持ち。版画を見て、作者の思いに共感してもらえたら」と話した。

10月29日まで。午前9

時～午後5時。入館料3

00円。問い合わせは同館

(0266・2486・663

3)